

2024
11

Miss Japan News

ミス日本ニュース

2024年12月16日発行 vol.236
一般社団法人ミス日本協会

ミス日本

11月の活動ピックアップニュース

11月19日

愛媛県の小学校・中学校
林業ゲームで楽しく環境学習

いま、林業を題材としたボードゲームが注目されています。**みどりの大使の安藤きらり**が「きこりものがり」「セーザイゲーム」のゲームマスターとして登場しました。愛媛県の泉小学校ではみどりの少年団の結団式、広見中学校では木をふだんに使った素晴らしい校舎の完成記念行事です。ルールを説明してゲームスタート。グループで作戦を練りながら勝利に向かって熱中します。

それぞれのゲームの肝は、ゴールした後です。生徒達はプレイしたゲームを通じて「これが林業なんだ」「でも実際はどうなんだろう」「すごく面白い世界！」などと前向きに捉えてくれます。ここですかさず安藤は林業の面白さや大変さ「切って使って植えて育てる」の木のサイクルをアピール。**通常の講義講演では不可能な浸透力で、木や森林への子どもの興味を強力に植え付けました！**

11月25日

大阪・関西万博記念
下水道職員健康駅伝大会

いよいよ**来年2025年に大阪万博が開催されることを記念して、全国の下水道職員によるチーム対抗健康駅伝大会**が大阪で開催されました。今年は能登震災の影響で全国の職員が能登に応援に入ったため、2月開催が中止されていました。水の天使の安井南は、スターター兼走者として登場。秋晴れの空に号砲一発、みんなが駆け出した後は、後半の走者としてコースを駆け抜けていきます。他の走者と笑顔で交流しながら、業界の絆を感じる楽しい機会となりました。全国の職員のみなさま、生活を支えてくれてありがとうございます。

11月27日

航行の安全確保への感謝
海賊対処活動に対する感謝の集い

島国日本に住む私達は、その生活に必要な物資の多くを海外から取り寄せています。その運搬の約99.6%は海運によって運ばれているため、**日本近海はもちろん、世界の海の安全を守ることは日本国民にとって死活問題ともいえます**。海上自衛隊および海上保安庁は、テロや海賊が出現する地域において、安全を守る任務を行っており、世界の安定に大きな貢献をしています。この日、**危険な任務をこなして帰国された隊員たちを労う感謝の集い**が開催され、海運関係機関の代表者、政治家、ミス日本「海の日」有馬司会とゲストとして登場しました。有馬は隊員一人ひとりにお話を聞き、尊敬と感謝をお伝えしておりました。

11月10日

ふくしま植樹祭 &
第50回いわき植樹祭

福島県で行われた植樹祭にみどりの大使安藤と、同2017の野中葵が登場しました。2人は震災からの復興進捗状況を視察。津波の影響を緩和してくれた海岸防災林の再生状況を確認しました。マツはまだ成長途

中ですが、着実に根を張り、枝を広げ、きっと次の時代の守り手になってくれます。**林業は将来世代のために行う森作り、国づくりでもあることを再認識**しました。式典では子どもたちとともに植樹活動。みどりいっぱい豊かな土地になりますように。

11月の活動ニュース

11月2日 GreenBlueEducationフォーラム
ゲスト審査員に水の天使

中学生や高校生が環境に対してどんなアクションを起こしたか、その成果を表彰するフォーラムが開催されました。ある学校ではマイクロプラスチックを回収するための装置を自分たちで考えて作成するなど、意欲的な取り組みが並びます。安井は学生たちに苦労した点や工夫したところをインタビュー。発表の全てが立派で、こども達の環境への真剣な想いに、大人たちが心打たれておりました。

中学生や高校生が環境に対してどんなアクションを起こしたか、その成果を表彰するフォーラムが開催されました。ある学校ではマイクロプラスチックを回収するための装置を自分たちで考えて作成するなど、意欲的な取り組みが並びます。安井は学生たちに苦労した点や工夫したところをインタビュー。発表の全てが立派で、こども達の環境への真剣な想いに、大人たちが心打たれておりました。

11月3日 水循環に想いを馳せる日
ビーチクリーン&ディスカッション

定期的に逗子の海岸を清掃する735styleさん。2022水の天使の横山莉奈が、ミス日本スポンサーの東亜グラウト工業様の企画でインタビュー参加しました。ビーチクリーンは定期実施することでかなりの美観を維持していました。取材では聞き役として、水環境維持の苦労と工夫をお伺い。美しい海の背景にある人の努力に気が付きました。

11月11日 日本下水道管路管理協会
関東支部技術研究研修会

下水道業界はこれから来るインフラ老朽化時代に備えて、常に新しい技術・工夫を研究しています。水業界の最新事例を学ぶセミナーにて、海の日向馬佳奈が司会進行を務めました。専門用語のオンパレードでしたが、耐震化や不明水など身近な話題から理解を広めていきました。

11月12日 カンツールフェスタ@松戸



ミス日本スポンサーのカンツールさま主催の取引先向けお祭りイベント「カンツールフェスタ」に水の天使安井が登場しました。普段はビジネスのみですが、ふらりと遊びに来れるイメージの会。

新しい機械を試してみたり、輪投げや抽選など縁日のような遊びをしたりと、事務所は温かい雰囲気になっておりました。

11月7日 大阪府木材連合会
第二回SDGs発表大会

大阪の木材利用を通じたSDGs貢献内容を発表する会にて、みどりの大使安藤が司会進行を務めました。会員企業や組合からのCO2削減取り組みが発表されます。会の最後にはゲストで近隣の中学生が登場。SDGsの取り組みをポスターにして発表してくれました。

11月13日 日本下水道管路管理業協会
管路管理セミナー

11日に引き続き、今度は全国レベルでの下水道管路管理セミナーに、水の天使安井南が登場しました。

地下の管を管理するために、いちいち工事して確認していたら、全国の道路は一生通行止めです。そこでのいろいろな工夫が発表されるのですが、

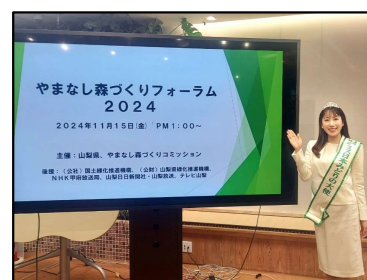
安井が特に驚いたのは漏水探知犬。土中の管が破れ、水が漏れた時に、その水の塩素臭を地上で嗅ぎ取る犬が活躍するそうです。機械や文明だけでなく、野生の力も活用して下水道は維持されていきます。

11月10日 熊本市水道100周年記念式典



熊本市は水道の100%を豊富で清廉な地下水で賄う稀有な県です。その100周年記念式典の司会に水の天使安井が登場。子どもたちからは、恵まれた水が未来にも続くよう決意が述べられました。

11月15日 やまなし森づくりフォーラム



山梨県の森林の取り組みを紹介するフォーラムが東京・大手町で開催し、安藤が司会を務めました。

山梨県は、今年2月に安藤が最初に林業を学んだ思い出深い土地です。発表では県内企業は森林浴を活用して社員厚生に活かしていることなどが発表されました。

11月の活動ニュース

11月16日

茨城県グリーンフェスティバル
式典、餅まき、林業機械

みどりの大使安藤が、茨城県の林業お祭りに登場しました。定番のミニ上棟式では段上からお持ちやお菓子を撒いていきます。緑の募金の呼びかけも、募金者にはブルーベリーの苗木をプレゼント。林業機械実演もあり子どもたちの嬌声が絶えないイベントでした。



11月20日

日本マリーナ・ビーチ協会
設立50周年記念行事

今年一年、船舶免許取得や奄美大嶋でのマリンレジャーですっかり海大好きになった「海の日」有馬佳奈が式典にお祝い出席。なんと司会は2007年「海の日」の河村さやかさん。新旧海の日で関係者を祝福しました。

11月18日

岐阜県森林技術開発・普及
コンソーシアム設立10周年記念式典

準ミス日本の石村彩華が、岐阜県が誇る森林文化アカデミー内に設置されているコンソーシアム記念行事に司会として登場しました。司会進行しながら森林への興味が湧いてきます。中でも記念講演で紹介された「森林浴」が気になった様子。森林浴は健康に大きな好影響が望めるということで近年注目されています。会の後には森に行きたくなりました。

11月28,29日

シーバードカレッジin福岡
司会進行役

水辺の安心安全の確保を目指し、パトロールやレスキュー、親水活動イベントなどを展開するシーバードJAPANによるセミナーにて有馬が司会を務めました。海の事故と原因の分析から、対策や技術開発が発表されます。事故がいつどこで起こるのか、時間帯や要因の分析発表や、アメリカの海兵隊の海難救助プログラムなどが紹介されていきます。極めて高度な内容に、改めて海の事故対策の重要性を認識しました。

11月の活動

- 1-4日 **ファイナリスト向け勉強会 第2期**
- 2日 GreaBlueEducationフォーラム ゲスト審査員 /安井
- 3日 水循環に思いを馳せる日ビーチクリーン& パネルディスカッション /22横山莉奈
- 7日 大阪府木材連合会 第二回SDGs発表大会 /安藤
- 10日 熊本市水道100周年記念式典 司会/安井
第7回ふくしま植樹祭 出演/安藤,17野中葵
- 11日 日本下水道管路管理業協会 関東支部技術研修会/有馬
- 12日 カンツールフェスタ松戸 出演/安井
- 13日 令和6年度下水道管路管理セミナー 司会/安井
- 14日 大阪・関西万博会場視察会 出席/石村,23吉岡恵麻
- 15日 やまなし森づくりフォーラム2024 出演/安藤
- 16日 茨城県グリーンフェスティバル2024 出演/安藤
- 18日 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム設立10周年/石村
- 19日 愛媛県泉小学校緑の少年団結成記念&広見中学校
校舎改築落成記念行事にて林業ゲーム体験会 /安藤
- 20日 日本マリーナ・ビーチ協会創立50周年記念式典/有馬
- 23日 大阪・関西万博記念下水道職員健康駅伝大会
ゲストランナー/安井
- 27日 海賊対処活動感謝の集い ゲスト/有馬
- 28,29日 シーバードカレッジin福岡 司会/有馬
- 30日 子どもの森づくりフォーラムin愛媛 視察会/安藤

11月のメディア

- 1,8,15,22,29【WEB】FITNESS LOVE ミス日本便り掲載
- 【冊子】日本下水道協会「下水道協会誌」寄稿/安井
- 【冊子】林野庁「情報誌林野」寄稿/安藤
- 【冊子】全日本海員組合会報誌「海員」寄稿/有馬



11月14日 万博会場視察会に大阪のミス日本が参加。いよいよ来年ですね！待ち遠しいです。
※写真は見学前の様子です。会場の情報はまだ秘密！

12月の予定

- 11月29日-12月2日 **ファイナリスト向け勉強会 第3期**
 1日 第1回ONSENガストロノミーホッピングウォークin泉南 /安井,有馬,石村
 子どもの森づくりフォーラムin愛媛 司会/安藤
- 2日 ミス日本コンテスト開催告知&ファイナリストお披露目記者発表会**
 スポニチフォーラム FOR ALL 2024 /安井,安藤
- 3日 全国育樹祭公式動画ナレーション収録/安藤
 4日 エコプロ2024 ウッドデザイン賞表彰式 /安藤
 日本海事広報協会 明治丸視察&インタビュー/有馬
 日本CLT協会 10周年記念式典 開会式
 「森で愛ましよう」演奏 /23上村さや香
- 7日 かながわトラストみどり財団
 令和6年度緑化運動育樹運動コンクール表彰式/安藤
 AOArtダイバーシティワークショップ/有馬
- 10日 第34回スリムクイーンコンテスト
 司会&審査員/安藤,有馬
- 11日 日本水道運営管理協会報告会講演会 司会/安井
 12日 全国緑化推進委員会連絡協議会/安藤
 14日 第27回全日本スポーツダイビング室内選手権大会
 大会アンバサダー/ 安井
- 18日 共用品推進機構設立25周年記念活動報告会 司会/安藤
 19日 WOODコレクション (モクコレ) 2024/安藤
 日本外航客船協会クルーズ・オブ・ザ・イヤー表彰式
 司会/有馬
- 20日 都留市デザインマンホールコンテスト表彰式/安井
 20,21日 北海道木育フェスタ2024 木育広場inチカホ/安藤
 22日 全東京写真連盟 上野羽子板撮影会/安藤,有馬
 31日 年末ジャンボ宝くじ 抽選会立会人 /安藤



【Mysta特別企画 ミス日本ファイナリスト総出演人気投票】

12月 9-15日 予選
 12月18-25日 決勝

右のQRコードから
 専用アプリmystaを通じて
 投票できます！



@@@専務理事・和田健太郎の編集後記@@@
 自己紹介で自信をつける

12月2日にファイナリスト記者発表会を行いました。彼女たちは報道メディアのカメラの前で自己紹介をしてもらっています。コンテスト当日と違い、失敗して良い場面です。なので各人が目標を設定して、チャレンジしてくれています。そばで見ていると応援する気持ちが湧いてきます。この仕事の毎年毎年楽しいところの一端です。

さてミス日本の勉強会のうち、**その大半は**（ものすごく乱暴にまとめれば）**【自己紹介を述べる】**というただそれだけに集中していると言えるでしょう。話し方はもちろん、メイクもファッションもエクササイズも、SNSブランディングもコーチングも、最終的には「人前で話す自分」をどのように表現するか、考えるためのエッセンスです。

自己紹介は奥深いです。一つとして同じことはなく、洗練された自己紹介は誰かと被ることは絶対にありません。究極の個性の発露です。これを組み立てるためには、自分をよく知るしかありません。ミス日本の3つの美で言えば「内面の美（ルーツを知る）」になります。

内面の美で自らの足元を固める、そしてそこに経験が積み重なる。雪が積もるように自信が形成されていきます。だから内面の美磨き（ルーツ分析）はとても大事です。

ミス日本を受賞した後の生活は、常に自己紹介から始まります。イベントや式典、どんな場面でもまず自己紹介です。その機会数は、一般の学生や社会人とも比べ物になりません。「若いのに立派だ」ミス日本がよく言われる褒め言葉です。これは現場経験に裏打ちされた自己紹介ができるから、と言えるかもしれません。期待に応えるためにますます努力や挑戦が習慣化します。そうして外見の美も整えられていきます。良い循環です。

今年受賞して活動した4人は本当に立派になったと感じます。経験を積んだことで、周囲の環境や関係、あるいは期待を感じ取っての対応ができるようになりました。これは一生役に立つことでしょう。

ファイナリスト記者発表での自己紹介は、まだまだの出来でした。しかしそれが面白い。これから自信が積み重なってきたらきっととんでもないことになる。そう予感させてくれる個性豊かな12名です。ぜひ下のURLから見てあげてください。



ファイナリスト勉強会 第2期

内面の美、外見の美、行動の美

これら3つの美を磨き、将来の夢を叶える実力を身につけます。

世界に誇る日本の水インフラと水の天使への期待 横浜市&国交省



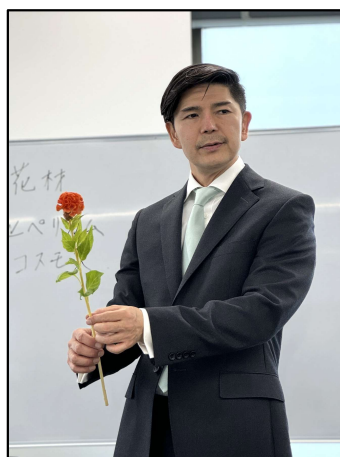
ミス日本「**水の天使**」は、**水の広報官**として業界の期待を背負って活動します。専門性の高い分野のため、東京都下水道局の研修センターにて水循環を学び、見学していきます。講義では国土交通省下水道部の堂園先生が、下水道がエネルギーや農業などの循環型社会に貢献できる点などを紹介。水業界の新しさをアピールしました。

自分を表現するメイク技法を習得 IBF国際美容連盟メイク講座



プロのメイクアップ講師を輩出する**IBF国際美容連盟様**。自己流に陥りがちなメイクアップ技法について、**基本から学び直し**をしていきます。まずはメイク道具の扱い方。道具を大事に扱わなければ、道具も応えてはくれません。基礎理論の次は、きめ細かい個人指導。ファイナリスト一人一人の疑問や悩み先生が的確にアドバイス。講義後には笑顔に溢れた講習会になりました。

お花と向き合い、美を探る



華道家元池坊華道教授の桶澤先生による生け花の講義。いざお花の美しさを引き出す時には、**そもそも自らが何を美と捉えているかが鏡写しに表現されます**。お花を生けながら、「美しいとはどんな状態か？」を自答し悪戦苦闘する機会です。各人が出来上がった個性豊かな作品に、先生が少し手をいれるだけで輝くように変わっていきます。そんな魔法のようなプロの技にも目を奪われる時間でした。

先輩ミス日本からのアドバイス ミス日本の心構え



ミス日本OG有志によるミス日本運営委員会が、スピーチとアピランスの指導にあたりました。**運営委員会は第一期からメンターとして、会社で働く隙間を縫って勉強会に参加し、アドバイスを**行ってきました。事前に委員内にて分析と役割分担を計画し、当日はより魅力的に個性を出すための指導をします。質問が時間いっぱい飛び交う充実した時間となりました。

3つの美とは？

内面の美

内面の美は、私を構成する要素を知ること、自分のルーツをたどることです。日本文化や伝統の他、自分の両親や祖先、育った土地や学校など、**自らを構成する要素を学びほぐす**ことで、自らの自信の土台を築きます。

外見の美

日々の鍛錬や選択の積み重ねを指します。親から受け継いだ体や資質をどう活かすのか、食べ物は何をを選ぶのかなど**毎日の選択が外見を作ります**。繰り返し鍛錬することで技術が身につく、オーラ形成に繋がります。

行動の美

行動の美とは、人生の目的を持ち、それに至るための目標を持つことです。目的や目標は挑戦して得られる経験とともにどんどん変更して良く、**周囲を魅了して協働に導くチカラ**となります。内面と外見の両方が欠かせません。



志教育と、教育コーチングで
「私」の本当の願いに迫る



子どもたちの学習指導の最前線で頑張る塾講師の方々が、指導に取り入れる教育コーチング。日本青少年育成協会のコーチ陣6名による目的と目標設定の勉強会です。丸一日をかけて自分の夢はなにか？生きる意味はなんなのかを言語化していきます。2週間分の事前学習により、ファイナリストたちは自己分析を重ねてきました。そこから、自分の墓標に刻みたい「生きた姿」を構想します。

今月のカリキュラム

1日

「生活を支える下水道施設の見学」

：東京都下水道局研修センターの皆さま

「世界に誇る日本の水インフラと水の天使への期待」

：国土交通省 下水道部 堂園洋昭さま

「EXPRESS YOURSELF ! Fresh&Clean makeup for vivid life 自己表現さわやかな清潔感、生き生きとした自分を表現するために」

：IBF国際美容連盟本部講師 鎌林泉先生

2日

「お花から学ぶ美意識と感性」

：華道家元池坊 華道教授 桶澤達也先生

「ミス日本の心構え」：ミス日本運営委員会

20水 中村真優、16みどり 飯塚帆南、

17準 宮西伽奈、19みどり 藤本麗華、

20GP 小田安珠、22海 属安紀奈

4日 自己紹介動画撮影

5日 「教育コーチング研修」

：日本青少年育成協会

中園佳幸先生・大村伸介先生・仲野十和田先生

小澤珠美先生・篠崎浩先生・小野田光伸先生

ファイナリスト一人ひとりがその構想を言語化し、発表をしていきます。心を込めているつもりでも、相手に熱意が伝わらない結果にとまどい、繰り返しながら、言葉に魂を込めていきます。

夢を口にすることはとても勇気がいることです。それを仲間のファイナリストに受け止めてもらいながら、自らが何を為すべき存在かを自分に言い聞かせていきます。先生に教え込まれるのではなく、先生方のサポートにより自分の考察で心の動きに気が付き、変化のきっかけを自ら作ったような一日となりました。